CUBE SYSTEM

「サステナブルな成長」の喜び、豊かさを
すべてのステークホルダーの皆様と
分かち合うために。

サステナビリティBook

サステナビリティ経営基本方針

キューブシステムグループは、社会発展のために果たすべき義務や役割を理解し、社員一人ひとりが事業や地域貢献などの活動を通じて企業価値向上と社会課題解決の双方を実現する「サステナビリティ経営」を追求します。

また、その基盤となる法令や企業倫理などのコンプライアンスを徹底し、社会や環境に負の影響を与えうる企業活動のリスク軽減にも積極的に取り組んでいきます。

キューブシステムグループ
持続的発展のための重要課題

ソフトウェアエンジニアリングで社会の変革に貢献できる企業を目指してまいります。

株式会社キューブシステム
代表取締役 社長執行役員 兼 CDO
中西 雅洋

当社は、1972年、ソフトウェア業界の草創期に独立系ソフトウェア企業として設立いたしました。以来、多様化し、高度化する顧客の情報化ニーズに対し、様々な技術やソリューションを適用し、顧客の競争優位の実現をサポートするパートナーとして、高付加価値でコストパフォーマンスの高いソフトウェア開発を提供しております。

社会は、今、大きな変革を求められています。社会生活が様変わりし、商品やサービスを提供する事業会社は、様々な業種業態で戦略的テーマを設定し、変革への対応に取り組んでいます。その取り組みは、DX（デジタルトランスフォーメーション）と呼ばれており、いかにビジネス変革、プロセス変革を成し遂げるかが問われています。

当社はこのような環境のもと、次期ビジョンで示す事業の方向性のもと、社員自ら志を持ち、行動することを指針として、より高度なソフトウェアエンジニアリング力を活かし、各事業会社でのDXの取り組みをサポートしてまいります。また、顧客が向かい合う様々な社会課題を事業機会として位置づけ、サステナビリティ経営を追求してまいります。これら高付加価値なITサービスを創造・提供することで、社会の変革に貢献できる企業を目指してまいります。

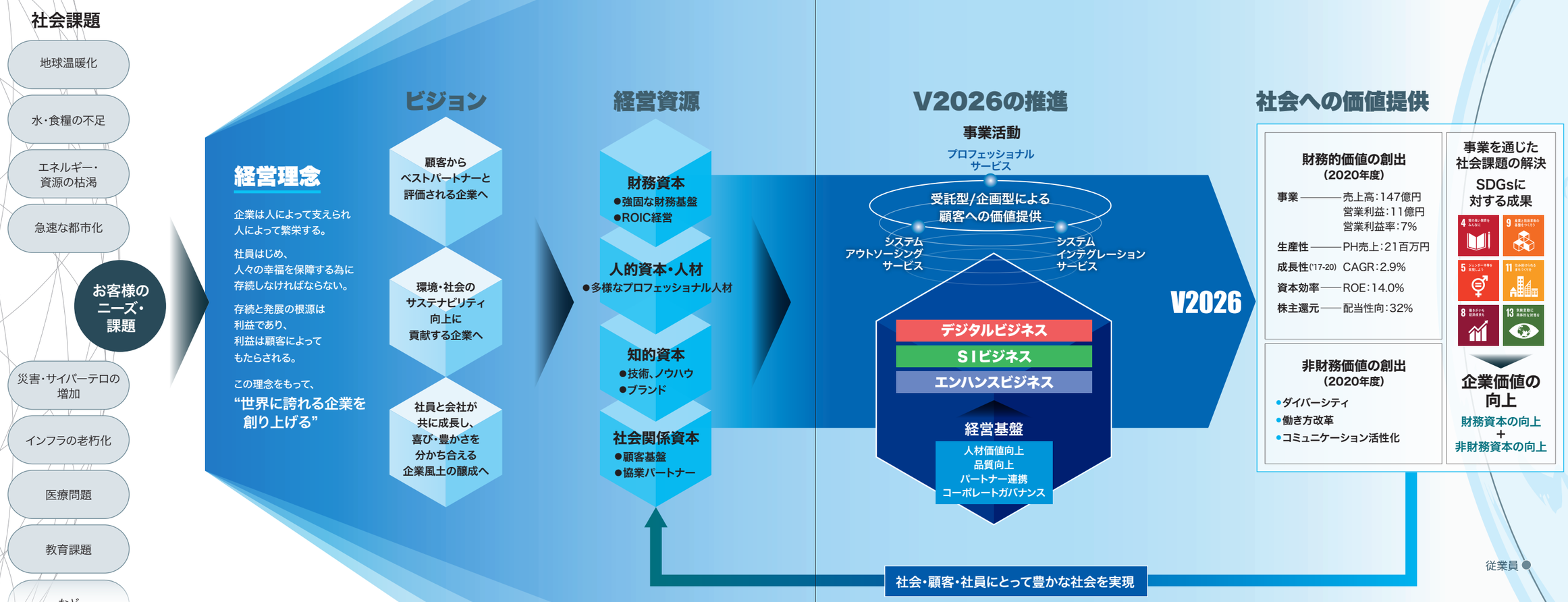
今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

キューブシステムの強みを活かした持続的な成長を目指して

キューブシステムグループは、より良い未来に向けて、社員一人ひとりが事業を通じて社会に貢献し、企業価値向上を目指しています。価値創造モデルは、経営理念にもとづいて、これまで培ってきた強固な「財務資本」と多様な「非財務資本」を活用し、ビジョン実現に向けて事業活動を推進することで持続的な社会の発展に貢献し、企業価値向上を図る仕組みです。

社会課題の解決やSDGsの達成にあたっては、ステークホルダーとの対話によって、当社自らが課題を発見し取り組む直接的な価値提供と、お客様に提供する高付加価値サービスを通じて寄与する間接的な社会還元があります。いずれも、ステークホルダーの声を経営に活かしていくことで、価値創造モデルを循環させ、持続的な成長を実現します。

キューブシステムグループは、これからもステークホルダーとの対話を通じ、ビジョンを実現するための成長戦略を描いていきます。



「サステナブルな成長」を目指して 新たな中期経営ビジョン「V2026」の策定を開始

V2020

V2026の方向性

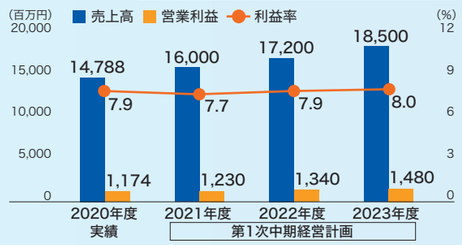
「事業を通じて社会に貢献し、企業価値の向上」を目指す

2021年3月、キューブシステムグループは、2021年度から2026年度まで6か年の「VISION 2026（V2026）」を策定しました。V2026では、社員自らが志とビジネスマインドを持ち、自ら考え、行動することを指針に、事業を通じて社会に貢献し、事業成長を果たすとともに企業価値の向上を目指していきます。成し遂げたい姿としては、従来の受託型のビジネスに加え、企画型＋受託型ビジネスで事業成長を果たしていくことを描いています。また、事業の方向性として「エンハンスビジネス」「SIビジネス（Lift&Shift）」、そして「デジタルビジネス」の3つのビジネスモデルを確立し、持続的な成長を目指していきます。その実現に向け、2021年度から2023年度までの「第1次中期経営計画」では、新たなビジネスへの変革の時期としてビジネス資産を形成するとともに、成長を盤石なものにするために制度設計、事業推進上の体制整備等に注力し、事業成長の基盤を確立していきます。2024年度から2026年度までの「第2次中期経営計画」では、第1次中期経営計画で確立した基盤を活かし、エンハンスビジネスでの圧倒的な生産性による収益を確保するとともに、デジタルビジネスおよびSIビジネスでの飛躍的な事業成長を目指します。

V2026 第1次中期経営計画 -数値指標

2023年度目標
（単位：百万円）

売上高	18,500
営業利益	1,480
利益率	8.00%
ROE	13%以上



ビジネスモデル変革

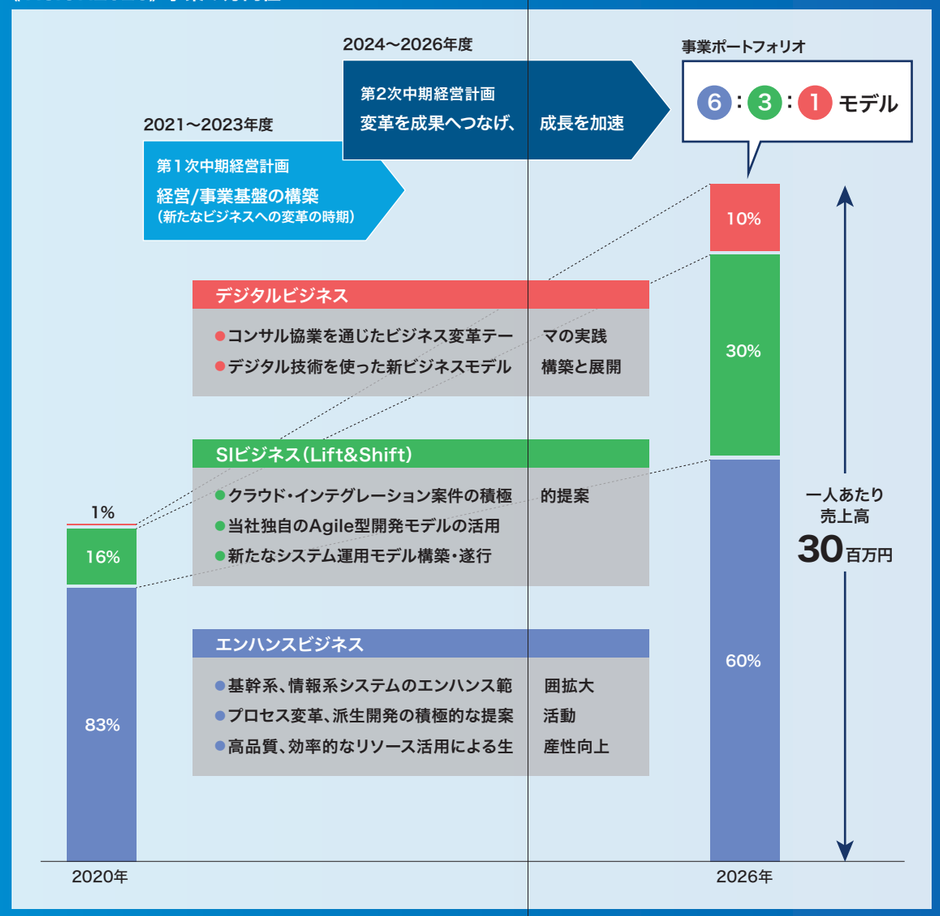
●エンハンスビジネスを基盤にSIビジネス、デジタルビジネスに投資

エンハンスビジネスを基盤事業とし、高生産性、高付加価値の徹底的な追求によって創出した利益を、プロセス変革を中心としたSIビジネス（Lift&Shift）、そしてビジネス変革を中心としたデジタルビジネスの強化に投資していきます。

●企画型＋受託型ビジネスで安定的かつ継続的な事業基盤を構築

SIビジネス、DXビジネスにおいては、お客様との対話を推進し、ビジネスモデルの企画提案からコンセプト実証（PoC：Proof of Concept）、事業検証（PoB：Proof of Business）を通じてソリューションを提供していきます。

《VISION2026》事業の方向性



人材・風土

●社員一人ひとりが志とビジネスマインドを持つ、自立的に考え、行動する組織へ

ソフトウェアエンジニアリングを通じて新たな事業機会やサービスを創出する多様な人材の育成、創造的な風土づくりを進めていくために、「未来人材開発センター」を設置。目指す人材像の明確化やキャリア別・階層別育成の強化、人材情報の見える化、次期経営者育成などを進めていきます。

サステナビリティ経営の高度化

キューブシステムグループは、経営理念を実践し、持続的な事業成長を果たしていくために、システム開発を通じた様々な社会課題の解決に努めています。2021年度からは、SDGsと紐付く6つの重要項目を定め、保有する財務資本と知的資本などの非財務資本を活用した高付加価値なサービスの提供を通じて「V2026」の実現を目指しています。キューブシステムグループは、価値創造プロセスを実践し、持続的に非財務的価値を高めていくことで、社会・顧客・社員にとって持続可能な豊かな社会を実現していけるよう取り組んでいきます。

重要課題の取り組み事例

高付加価値サービスの提供

全ての人々の金融サービスへのアクセスに貢献

8 働きがいも経済成長も

ターゲット

- 国内の金融機関の能力を強化し、すべての人々の銀行取引、保険、および金融サービスへのアクセス拡大を促進する

キューブシステムグループは、銀行・保険・金融向けのシステム構築、維持保守業務を通じて、金融機関業務の支援だけでなく、全国の利用者へのサービス提供、適正でフェアなサービス提供の実現を支援しています。

近年、パソコンや、スマートフォンのアプリを使って、インターネットバンキングのサービスが広く利用されています。キューブシステムグループでは、銀行向けのインターネットバンキング関連のシステム開発、保守運用サービスを行い、ネットバンクの商品・サービスの提供に貢献しています。

また、インターネット専業銀行も増え、銀行が提供する金融サービスにおいても、スマートフォンアプリを利用しておこなえるものが、多くなってきています。キューブシステムグループでは、このようなスマートフォンアプリの構築も行っております。

災害に強く安定した通信インフラ構築に貢献

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

ターゲット

- すべての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する

キューブシステムグループは、モバイル事業における顧客情報管理システムをはじめとする基幹システムのインフラ構築及び保守業務を通じて、災害に強い、安心して使える通信環境の実現を支援しています。

通信キャリア様は、携帯電話をいつでも、どこでも、安心して使える通信環境を提供することを使命とし、より良いネットワークの提供に取り組んでいます。また、災害に強い通信サービスの提供に努めており、さまざまな災害対策を実施しています。

キューブシステムグループは、この通信キャリア様の契約情報を統合管理する顧客情報管理システムのインフラ保守運用業務を担当しており、お客様への円滑なサービスが確保できるよう、システムを24時間365日ノンストップで稼働させ、安定的なサービス提供に貢献しています。

事業成長基盤の構築と継続

ダイバーシティ&インクルージョンの推進

5 ジェンダー平等を実現しよう

ターゲット

- あらゆるレベルにおいて、有効で説明責任のある透明性の高い公共機関を発展させる
- 女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する

キューブシステムグループは、国籍、年齢、性別、社会的地位、障がいの有無、価値観など働き方等の多様性を互いに尊重し、認めあい共に活躍・成長することができよう、人材育成や環境整備、意識改革を進めています。

具体的には、女性活躍推進のための社内セミナーや勉強会を実施しています。また、女性従業員の雇用と役職者への登用を増やすための施策・環境整備を実施するともに、障がいのある方や高齢者、外国籍の方の雇用を推進しています。

これら活動を通じて、社員一人ひとりが、いきいきワクワク働きながらプロフェッショナルとして能力を最大限に発揮できる職場環境・風土づくりを目指していきます。

重要課題の取り組み事例

ガバナンス・社会貢献

情報産業の将来を背負って立つ人材の育成

4 質の高い教育をみんなに

ターゲット

●2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び企業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

キューブシステムグループは、グローバルな視点で情報産業の将来を背負って立つ人材育成を目的として、東洋大学において、2016年より寄附講座を開設しています。情報技術や情報産業と地域社会や私たちの暮らしの関わりに焦点をあてて、産官学から招聘する多様な講師による最新の動向に触れる機会を提供しています。

その他にも、東洋大学寄附講座の一環として、大学生と当社社員によるアイディアソンの開催や子会社のベトナムキューブシステムを拠点とした海外インターンシップも実施しています。

また、中学生に向けた職場訪問、IT教育などを実施し、将来を担う人材の育成に取り組んでいます。

寄附講座

中学生の職場訪問

ベトナムインターン

アイディアソン

暮らしやすい街づくりに向けての取り組み

11 住み続けられるまちづくりを

ターゲット

●2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。

キューブシステムグループは、本社のある品川区、西日本ソリューション事業本部のある大阪市、北海道キューブシステムのある札幌市それぞれの地域と連携し、住みやすい街づくりに貢献しています。清掃活動や美化活動での草取りや種まきなどに参加し、地域社会貢献活動を実施しています。

また、当社の社員向けの活動として、「ファミリー・デー」を毎年開催しています。社員のご家族に当社の事業、社内環境や実際にご家族が働いている姿を見ていただくことで、当社をより理解していただき、「会社」と「社員」、「家族」の絆を深める環境づくりとして実施しています。

美化活動

清掃活動

ファミリー・デー

株式会社キューブシステム
東京都品川区大崎2-11-1 大崎ウィズタワー　https://www.cubesystem.co.jp/

キューブシステムの

主なコミュニケーションツール

キューブシステム公式サイト

https://www.cubesystem.co.jp

非財務情報

CSRページ

https://www.cubesystem.co.jp/csr

サステナビリティBook

財務情報

IR情報ページ

https://www.cubesystem.co.jp/ira

- 有価証券報告書
- 決算短信
- 株主通信
- ファクトブック
- コーポレート・ガバナンスに関する報告書